

# 予算編成過程（一般会計）の公表について

1回目（当初要求時）  
令和5年12月13日現在

## 令和6年度北広島市一般会計当初予算要求額の概要

- ・令和6年度一般会計当初予算要求額は、歳入では約289億円、歳出では約319億円となっています。
- ・令和5年度当初予算と比較して歳出において約13億円（4.2%）の増加となっています。
- ・当初要求段階において、約30億円が収支不足となっています。

## 一般会計の歳入

（単位：百万円）

区分（「款」の名称）	令和5年度 当初予算額	令和6年度 当初要求額	比較	
				%
市 税	8,151	8,400	249	3.1
地 方 譲 与 税	215	220	5	2.3
利 子 割 交 付 金	3	2	△ 1	△ 33.3
配 当 割 交 付 金	30	21	△ 9	△ 30.0
株式等譲渡所得割交付金	17	17	0	0.0
法人事業税交付金	112	111	△ 1	△ 0.9
地方消費税交付金	1,617	1,640	23	1.4
ゴルフ場利用税交付金	200	219	19	9.5
環境性能割交付金	13	20	7	53.8
国有提供施設等所在市町村助成交付金	1	1	0	0.0
地方特例交付金	59	59	0	0.0
地方交付税	5,112	4,815	△ 297	△ 5.8
交通安全対策特別交付金	10	8	△ 2	△ 20.0
分担金及び負担金	75	84	9	12.0
使用料及び手数料	427	505	78	18.3
国庫支出金	7,292	6,028	△ 1,264	△ 17.3
道支出金	1,836	2,043	207	11.3
財産収入	353	344	△ 9	△ 2.5
寄附金	1,000	1,000	0	0.0
繰入金	772	0	△ 772	△ 100.0
繰越金	100	0	△ 100	△ 100.0
諸収入	589	624	35	5.9
市 債	2,612	2,733	121	4.6
建設事業債等	2,405	2,640	235	9.8
臨時財政対策債	207	93	△ 114	△ 55.1
合 計	30,596	28,894	△ 1,702	△ 5.6

歳入予算については、国や道の動向、翌年度の景気見通し等により変動します。国が発表する「地方財政計画」という地方財政の見通しも重要な指標となります。

予算要求は、ある程度見通しのつくものと、景気や経済情勢に左右され予測が難しいものがありますが、できる限り実際の収入に近づけるように見積もっています。

歳入の当初要求額は、令和6年度予算を編成するために推計した額で、これからの編成作業のなかで、事業費の精査や実施事業の決定により、国庫支出金、道支出金や市債などが変動していきます。

# 一般会計の歳出

(単位：百万円)

区分（「款」の名称）	令和5年度 当初予算額	令和6年度 当初要求額	比較	
				%
議会費	181	180	△ 1	△ 0.6
総務費	4,175	2,378	△ 1,797	△ 43.0
民生費	10,367	10,811	444	4.3
衛生費	2,506	1,828	△ 678	△ 27.1
農林水産業費	85	111	26	30.6
商工労働費	367	403	36	9.8
土木費	4,087	6,525	2,438	59.7
消防費	208	358	150	72.1
教育費	1,981	2,694	713	36.0
災害復旧費	0	0	0	#DIV/0!
公債費	2,543	2,493	△ 50	△ 2.0
諸支出金	57	56	△ 1	△ 1.8
職員費	3,989	4,002	13	0.3
予備費	50	50	0	0.0
合計	30,596	31,889	1,293	4.2

当初要求における収支不足額	△ 2,995
---------------	---------

令和6年度の予算要求は、各部局において、各事業の見直しなどによる選択・重点化を行いながら、おおむね現在策定中の「2023推進計画」に沿った要求となっております。  
 予算要求は、経常経費（管理的経費）と政策経費とに区分して行われており、今後、要求のあった内容について、査定を行ってまいります。

☆予算編成過程の公表の時期

- 1回目（12月） 令和6年度当初予算要求の状況
- 2回目（1月） 経常経費・政策経費1次査定後
- 3回目（2月） 当初予算案の状況

今後は、税制改正・地方交付税など国の令和6年度予算編成の動向等を踏まえて、予算編成作業のなかで歳入・歳出それぞれを見直し、北広島市の令和6年度予算案を策定してまいります。